



American Society of Plastic Surgeons

Breast Reconstruction

乳房再建

American Society of Plastic Surgeons ホームページより和訳
<http://www.plasticsurgery.org/patients_consumers/procedures/BreastReconstruction.cfm>

乳房再建手術をお考えなら・・・

乳癌やその他の病気によって切除された乳房の再建は、今日行われている外科手術の中で最も価値のある手術の一つです。新しい医療技術や医療用具のおかげで、健康な胸に近い形や見た目の乳房を作ることが可能となりました。ほとんどの場合再建は、乳房切除のすぐ後に行うことができ、患者さんは全く乳房がなくなった状態を見ることなく、病院で胸のふくらみとともに目覚めることができます。

しかし乳房切除後の再建は、簡単な手術ではないことを覚えておいてください。あなたに最も適した方法を医師と話し合っていく上で、考えなければいけないことがたくさんあります。

ここには手術の基本的なことが書かれています・・・いつが適切なのか、どのように行われるのか、どのような結果が期待できるのか・・・。状況には個人差があり、あなたのすべての質問にはお答えできていないかもしれません。手術についてわからないことがあれば、必ず担当の医師におたずねください。

Patient Stories

(省略)

乳房再建に最も適している人とは・・・

乳房切除をした患者さんのほとんどは医学的に再建手術が可能であり、大半の方は乳房が切除されたときに再建を行います。しかしながら最も適していると言えるのは、乳房切除により癌が取り除かれたと診断された女性です。

とは言え、再建を待たなくてはならない理由もあります。多数の女性にとって、癌の診断を受け入れるのに苦労する中、選択肢を検討するのは大変なことです。ただ単に、必要以上の手術を受けたくないと言う患者さんもいます。皮弁形成術のような、より複雑な手順の乳房再建が必要な場合、患者は医師に待つように助言されるかもしれません。肥満や高血圧、喫煙をする患者さんも待つように助言されるかもしれません。

いずれの場合でも、手術の前に再建の選択肢があることを伝えられていると、未来をより前向きに捉えながら乳房切除への心構えができるでしょう。

どんな手術にも予測できないことや危険性が伴います

実質的には、癌のために乳房を切除しなければいけない女性は、再建手術で胸を造りなおすことができます。しかし、どんな手術にも危険性は伴い、この方法にも合併症が伴います。

出血、体液の堆積、過度の瘢痕、麻酔の難しさなど外科手術ではありふれた問題は、比較的まれですが発生します。そして喫煙者は、どんな手術でもニコチンが治癒の進行を妨げ、目立つ傷を残し、回復を遅らせるということを知っておくべきです。これらの合併症はひどくなると再手術を要します。

インプラントを使った場合、通常、手術後 2 週間以内に間接的な感染の可能性が発生します。感染がなくなるまでインプラントを数ヶ月間とりださなければならないケースもあります。その場合、後日新しいインプラントを入れることができます。

もっともよく起こる問題である被膜拘縮は、インプラント周辺組織の傷や被膜がこわばって起こります。柔らかいインプラントが圧迫されると、胸が硬くなる原因になります。被膜拘縮の治療法には、インプラントの抜去又は被膜に“傷”をつける方法、あるいはインプラントの抜去又は取替えという方法があります。

再建手術で胸の病気が再発したり、癌再発予防の放射線治療や化学療法に影響を与えたりすることはないとされています。担当の医師は、再建された胸と正常な胸と両方を定期的にマンモグラフィで検査を続けることを勧めるかもしれません。もし再建手術がインプラントを伴うものであれば、インプラントを用い再建した胸のレントゲン検査という、特別な技術の経験を持つ技術者がいる放

射線治療センターに行くようにしてください。

再建を先に延ばした女性は気持ちの整理に時間がかかるかもしれません。胸を失ってしまったことに慣れるのに時間が必要なように、不安で困惑ながらも再建した胸を自分の胸だと思い始めるでしょう。

手術の計画

癌と診断されれば、再建について話し合いを始めることができます。乳腺外科医と形成外科医が協力し、あなたに最も適した条件に可能な限り合わせた再建手術法を考えてもらうのが理想的です。

あなたの健康状態を診た後、医師は年齢、身体の状態、検査結果、組織、そして目的を考慮し、どのような再建が最も適しているかを説明するでしょう。あなたがどのようなことを期待しているかを率直に医師に伝えてください。そうすれば医師も同じくらい率直に、再建の選択肢やそれぞれの危険性や制約について説明するでしょう。乳房切除後の再建手術は容姿をよくし、自信を取り戻してくれます。ただ、望んでいた結果は完全ではなく改良であることを忘れないで下さい。

医師からは、使用する麻酔や手術が行われる施設、費用についても説明があるはずです。ほとんどの場合乳房切除後の再建手術費用は、全額、又は大部分、健康保険が適用されます。保険証書を確認し、あなたの手術に保険がきくかどうか、またどのような再建手術に保険がきき、何か制約がないかを確認してください。

手術への準備

乳腺外科医と形成外科医は、食事や喫煙、摂取すべきまたは摂取すべきでないビタミン剤や薬品についてなど、手術にどのような準備が必要かを具体的に説明します。

必要であれば準備期間中に、手術後家まで車で送ってくれる人や、術後数日間身の回りの世話をしてくれる人を手配するとよいでしょう。

手術が行われる場所

乳房再建には普通 1 回以上の手術が必要です。乳房切除と同時の再建、又は後日の再建でも、第一段階の手術は一般的に病院で行われます。

2 回目以降の手術は病院で行われることもありますが、手術の程度によっては外来施設で行うこともあります。

麻酔の種類

胸のふくらみを作る、第一段階の再建手術では、ほとんどの場合全身麻酔を使用し、あなたは手術の間眠っています。

2 回目以降の手術では局所麻酔のみが必要とされるかもしれません。鎮静剤を用い、うとうとした状態になります。術中はリラックスした状態で意識がありますが、多少の不快感はあるかもしれません。

インプラントの種類

もし医師にインプラントの使用を勧められたら、どのような種類を使うべきかを話し合ったほうがよいでしょう。乳房インプラントとは、シリコンの膜にシリコンジェルか、生理食塩水として知られる塩の水溶液が入ったものです。

シリコンジェル乳房インプラントの安全性を証明する情報が不十分であるため、Food and Drug Administration (FDA:米食品医薬品局)では、新しいジェルインプラントは認可研究に参加する女性に限り使用すべきだと判断しました。これは今のところ、皮膚拡張器(皮膚拡張の節をお読み下さい)を挿入している女性、乳房切除後すぐの再建手術を選択した女性、そして既にシリコンジェルインプラントを移植していて、医学的な理由から交換が必要となった女性が含まれる。いずれ、適切な医学的理由のある全ての患者さんにシリコンジェル乳房インプラントの使用許可が下りるかもしれません。

また、シリコンの膜に塩の水溶液が入った生理食塩水インプラントは FDA のさらなる調査が未完ながらも、制限なく使用することができます。

もっと情報が収集されれば、これらの FDA の指針は変わるでしょう。医師と最新の選択肢を話し合うようにしてください。(以上の指針は 1992 年 7 月現在のもの)

※ 注釈: メンター社とアラガン社(前イナメド社)のシリコンジェルインプラントは 2006 年 11 月 FDA の認可を受けました。

詳細は、弊社ホームページにて以下をご覧ください。

- FDA ニュース: シリコンジェル乳房インプラントを認可
<<http://www.sawkenn.com/FDA%20Implants%20Approval.pdf>>
- FDA 乳房インプラント: よく聞かれる質問と回答
<http://www.sawkenn.com/fda_implant_faq.pdf>

手術

乳房切除後の再建にはいくつかの選択肢がありますが、どれが最もあなたに適しているかを医師と話し合ってください。

皮膚拡張

最もよくとられるのは、皮膚の拡張とその後インプラント挿入を行う方法です。

乳房切除後、医師はバルーン拡張器を皮膚と大胸筋の下に挿入します。その後数週間から数ヶ月掛け定期的に、皮下の小さなバルブを通して少しずつ生理食塩水が拡張器に入れられます。胸部の皮膚が十分に伸びたら、第二次手術で拡張器は取り出され、より長期にわたり使用できるインプラントが挿入されます。最終的にインプラントとしてそのまま手術部に残しておくように作られた拡張器もあります。乳頭やその周りの乳輪と呼ばれる部分の濃い色の皮膚は、その次の処置で再建されます。

インプラント挿入前の皮膚拡張を希望しない患者さんもいます。そのような患者さんたちに対して医師は、最初の段階でインプラントを挿入します。

皮弁再建

乳房再建に対するインプラント以外の方法としては、背部、腹部、殿部などからの皮弁形成術があります。

有茎の皮弁形成術では、皮膚、脂肪、筋肉などを含む組織を元々の血行を保ったまま、皮下に作ったトンネルを通して乳房を再建します。乳房の組織量に対してインプラントが必要な場合もあるし、移動した皮弁のみで足りる場合もあります。

また、腹部、大腿部、殿部などから採った組織を利用した遊離皮弁形成術があります。組織を栄養していた血管を一度切断して、再建部の血管に再び縫合して血行を得ます。この方法を行うためには、微小血管縫合の経験のある形成外科医の技術が必要とされます。

有茎皮弁であろうと微小血管縫合を用いた遊離組織移植であろうと、皮弁を利用した再建術は皮膚拡張術よりは複雑な手術となることが多いものです。手術痕は皮弁採取部にも再建部である胸部にも残ります。またインプラントのみの再建術よりも回復に時間がかかります。

しかしながら自己の組織のみを使用した乳房再建は、より自然で、シリコンに対するある種の憂慮をしなくてもよいという利点もあります。また一部の症例では腹部の過剰組織が減るという利点もあります。

追加処置

ほとんどの乳房再建には時間をかけて行ういくつかの処置があります。普通、最初の再建手術が最も複雑です。2回目以降の手術では皮膚拡張器とインプラントの入れ替えや、乳頭や乳輪の再建が行われます。多くの医師は、再建された乳房と釣り合うようにもう片方の乳房を上げたり、大きく、或いは小さくしたりする追加手術を勧めています。しかしこの処置をすると、健康な乳房に傷

がつくかもしれないし、保険が適用されないかもしれません。

手術後

再建手術後1～2週間は痛みや倦怠感があるでしょう。このような不快感は、医師から処方された薬で緩和することができます。

手術の程度によりますが、2～5日程度で退院できるでしょう。たいていの場合、手術箇所から過度の体液を取り除くために、再建後1～2週間の間に手術で排出させることが必要となります。また、1週間から10日ほどで抜糸されます。

日常生活への復帰

乳房切除と再建、もしくは皮弁再建のみの場合でも、回復には6週間程度かかるでしょう。皮弁なしでインプラントを挿入した場合や、乳房切除と再建手術を分けてした場合には回復期間は短くなるでしょう。

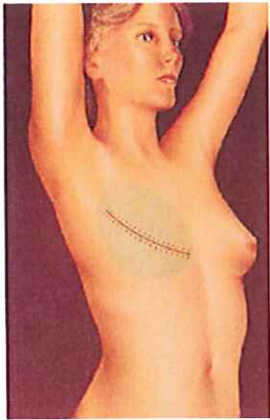
再建をすると、胸の感覚は元通りにはなりません。時間が経つにつれ、感覚が戻ってくることもあるかもしれません。ほとんどの手術痕は、1～2年はかかるかもしれませんが少しずつ目立たなくなるでしょう。しかし完全に消えることはありません。全てを通して再建がうまくいっていれば、痕もあまり気にならないでしょう。

日常活動や身体を伸ばす運動を始める時期については、医師の忠告や助言に従ってください。基本的なこととして、何かを持ち上げる動作、激しい運動、性生活は術後3～6週間避けてください。

新しい外観

再建された胸は健康な胸と比べて、より柔らかく丸く、もしくはより平たく感じるかもしれません。切除前の胸や反対側の胸と同じかたちではないかもしれません。しかしこのような違いはあなたにしかわかりません。乳房切除を受けたほとんどの患者さんにとって、乳房再建は感動的なほど外観をよくするだけでなく、術後の生活の質をもよくするものです。

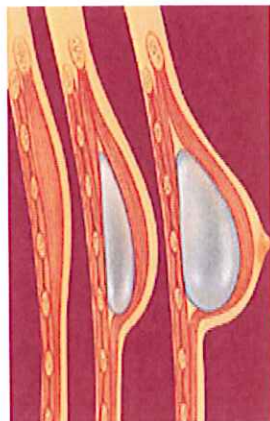
乳房再建



1. 乳房切除後、再建の準備のため皮膚拡張器が挿入されます。



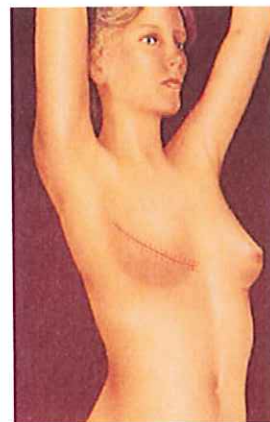
5. 移植された組織は乳房インプラントのための皮弁を作ります。インプラントなしでもふくらみを作ることができるくらい十分な量があることもあります。



2. 大胸筋の下にインプラントが入るよう、皮膚を十分に伸ばすため、チューブを通して拡張器に少しずつ生理食塩水が入れられます。



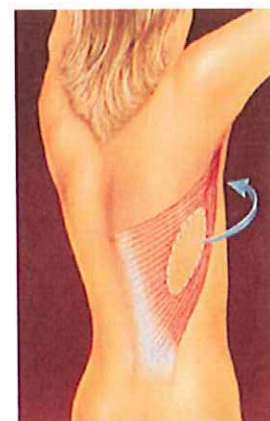
6. 腹部の組織が使われる場合もあります。新しい胸のふくらみを作るため、胸までトンネルが掘られるか、手術で移植されます。



3. 手術後、胸のふくらみが戻ります。傷は残りますが、徐々に目立たなくなります。乳頭と乳輪は後日再建されます。



7. 手術後、胸のふくらみ、乳頭、乳輪が戻りました。



4. 皮弁形成術では背中中の組織を使用し、再建された乳房をサポートするように胸壁の前へとトンネルが掘られます。



8. 胸、乳頭、腹部の瘢痕は時間を掛けて目立たなくなりますが、完全になくなることはないでしょう。

この手術を行う形成外科医を見つけるには、American Society of Plastic Surgeons の online referral service をご覧下さい。American Society of Plastic Surgeons は 1931 年に設立された世界最大の形成外科医の機関であり、美容外科手術や再建形成手術で最高の権威を保持しています。American Society of Plastic Surgeons の全てのメンバーは American Board of Plastic Surgery 又は the Royal College of Physicians and Surgeons of Canada の認定を受けています。

翻訳：株式会社 総見 国際マーケティング部